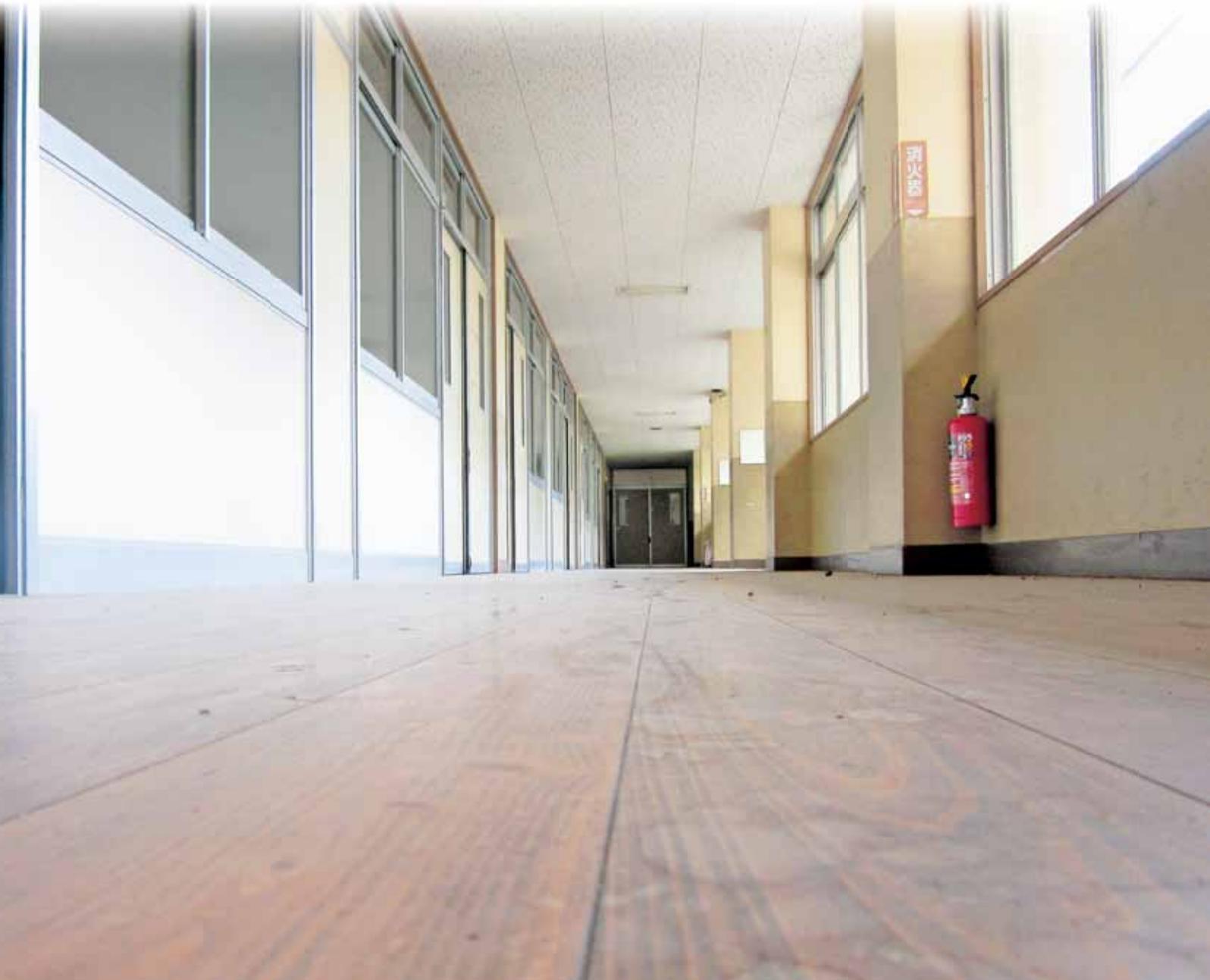


# くまもと

議会だより

87号  
2017.7.25



旧神瀬小学校は、閉校して7年になります。ふと、教室のあった2階に上がると、そこには静かな空間が広がっていました。廊下にカメラを置きシャッターを押すと、子ども達が笑い転げていたあの頃が、よみがえってくるようです。

もくじ	6月の定例会	2~3
	一般質問における発言の要旨一覧	4
	一般質問	5~11
	交通の歴史、今や観光に！	12

## 球磨中学校体育館 大規模改修へ

6月定例会は、6月12から16日までの5日間の日程で開会し、平成28年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書報告1件、専決処分事項報告承認4件（球磨村税条例の一部を改正する条例の制定・平成28年度一般会計補正予算・国民健康保険特別会計補正予算・介護保険特別会計補正予算）、球磨村副村長の選任同意1件、条例（球磨村報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例）1件、財産処分1件、平成29年度一般会計補正予算1件が原案のとおり承認、同意、可決されました。

一般質問では7人が登壇し、施策や行政課題など執行部の考えをいただきました。

定例会初日の12日は、まず3月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、人吉球磨広域行政組合議会及び人吉下球磨消防組合議会の報告を行いました。

次に、議案では、平成28年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告、専決処分事項報告承認で、球磨村税条例の一部を改正する条例の制定、平成28年度一般会計補正予算、平成28年度特別会計補正予算、副村長の選任同意、球磨村報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定、財産処分（村有林立木）、予算関係で平成29年度一般会計補正予算の合計9議案を上程しました。

### 【一般質問】

13日の一般質問には、田代利一議員、高澤康成議員、多武義治議員、宮本宣彦議員の4名の議員が登壇。老人クラブの活動状況、村民防災会議、国道・県道・村道・林道の整備・危険箇所、農業振興、地域防災、人口ビジョン対策、山林の固定資産税、かわせみの決算状況、教育行政、コミュニティ活動、教職員の実態など。

また、14日の一般質問は、嶽本孝司議員、舟戸治生議員、小川俊治議員が登壇。総合運動公園の運営と施設管理、安心安全な暮らしの環境づくり、簡易水道の老朽管付設替え、村民にやさしいむらづくり、観光資源の活用、集落営農の推進、持続可

能な農業の支援、公民館活動の現状と課題などについて多岐にわたって執行部の考えを質しました。

（詳細は5〜11頁掲載）

5758万円の増、歳入歳出それぞれ3億9571万2千円を追加し、総額35億4571万2千円となりました。

### 【予算関係】

補正予算関係では、初日に上程した平成29年度一般会計補正予算を原案のとおり可決しました。

主な内容は、球磨中学校体育館大規模改修工事1億5600万円を含めた周辺の付帯工事、校舎トイレ改修工事など中学校費の2億317万円の増、村道熊田線改良工事2500万円、熊本県の「防災・減災ソフト対策事業」を活用した村道峯山口線改良工事など道路橋梁費4145万円の増、峯川河川整備工事など河川費



大規模な改修が行われる球磨中体育館

## 【人事関係】

球磨村副村長の選任同意について、内布利人氏の2期目の選任に同意しました。

## 臨時議会

7月臨時会が10日開会され、条例（球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定）1件、契約1件、平成29年度一般会計補正予算の合計3議案を審議し、原案のとおり可決されました。

主な内容は、球磨中学校体育館大規模改修工事に伴う工事請負契約の締結について、及び補正予算では、農山漁村振興交付金（農泊推進対策）事業による「さんがうら屋外炊飯交流体験施設等」工事など山村振興費2160万円の増、歳入歳出それぞれ2160万円を追加し、総額35億6731万2千円となりました。

## 6月定例会 議案等の審査結果

日程	議案番号	件名	結果
第1	報告第3号	平成28年度球磨村一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告
2	承認第1号	専決処分事項報告承認について（球磨村税条例の一部を改正する条例の制定）	原案承認
3	承認第2号	専決処分事項報告承認について（平成28年度球磨村一般会計補正予算）	原案承認
4	承認第3号	専決処分事項報告承認について（平成28年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算）	原案承認
5	承認第4号	専決処分事項報告承認について（平成28年度球磨村介護保険特別会計補正予算）	原案承認
6	同意第8号	球磨村副村長の選任同意について	原案同意
7	議案第19号	球磨村報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
8	議案第20号	財産の処分について	原案可決
9	議案第21号	平成29年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決

## 7月臨時会の議案等審査結果

日程	議案番号	件名	結果
第1	議案第22号	球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
2	議案第23号	工事請負契約の締結について	原案可決
3	議案第24号	平成29年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決

# 総務文教常任委員会の報告

委員長 多武 義治

1. 6月2日に、平成28年度末における村税、国民健康保険税、住宅使用料、情報通信料などの滞納状況を調査しました。特に、テレビ利用料や住宅使用料は前年度と比べて大きく減少しています。
2. 7月3日、旧高沢小学校、旧俣口分校、旧川島分校を現地調査しました。主な意見として、旧高沢小学校の校舎内に保管されている古い民具は、「さんがうら」などに移してはどうか。旧俣口分校は、新たな費用負担が伴わない民間利用を含めた活用策はないか。また、それぞれの校舎内にある大量の本については、廃棄や村民への無料払下げができないかなど、所管する総務課、教育委員会に対し申し入れを行いました。



旧俣口分校

## 一般質問における発言の要旨一覧

質問者	質問の要旨
田代利一議員	1. 老人クラブの活動状況 2. 村民防災会議について 3. 国道、県道、村道、林道の整備及び危険箇所について 4. 農業振興について
高澤康成議員	1. 各地域の防災への取り組みと村の防災計画 2. 人口ビジョン対策の進捗状況と今後の取り組み
多武義治議員	1. 山林の固定資産税の今後の方向性 2. 一勝地温泉「かわせみ」の決算状況 3. 教育委員会の広域化の考え 4. コミュニティスクールの取組状況
宮本宣彦議員	1. 村民防災会議（ブロック会議）の状況を踏まえた今後の方向性 2. 行政区再編後10年目を迎え、今後の支援体制 3. 教職員が余裕を持って教育に取り組める施策
嶽本孝司議員	1. 総合運動公園全体の整備について 2. 県民体育祭ソフトボール会場の運用について
舟戸治生議員	1. 災害物資の備蓄について 2. 防犯カメラの設置について 3. 球磨村簡易水道の老朽管付設替え整備事業について 4. ピロリ菌の検査について 5. 骨髄移植支援について 6. クルーズ船及び観光需要の増大、対策について 7. ヤマメの養殖について
小川俊治議員	1. 農地の保全及び経営発展に向けた集落営農の推進 2. 持続可能な農業の支援 3. 公民館活動の現状と課題

地区での防災意識、地域での話し合いが大事

**答** ブロック会議を受けて、地域に持ち帰って話してもらおう仕組みづくりが大切だ。

**田代議員** 老人クラブの活動状況は。  
**柳詰村長** 村内で16の単位老人クラブ、814名の会員が活動。内容は、ふれあいサロンや健康出前講座の開催、グラウンドゴルフ、地域の美化作業、シルバードランテアによる見守り活動などで、皆さん、活発に健康づくりやボランティア活動に取り組まれている。  
**田代議員** 会員数が29人以下と30人以上では、補助金が倍になっているが、いつごろから始めたのか。補助金額として妥当か。  
**柳詰村長** 20名以上29名までは2万5千円、30名以上39名までは5万4千円、以下会員が10名増すごとに3千円を加算。  
**假屋住民福祉課長** 平成25年度に要項で金額の見直しをした。30人以上の老人クラブに対しては、県からの補助金があり、2万2千円が交付されている。



一勝地地区の村民防災会議

**柳詰村長** 29名以下についてよく検討させていたいただきたい。  
**田代議員** 村民防災会議ブロック会議の状況は。  
**大瀬総務課長** 第3回目まで終了した。参加者数も伸びてきている。  
**田代議員** 地区でも防災意識、話し

合いが大事と思うが。

**柳詰村長** ブロック会議には、地区の班長、地域の民生児童委員、消防分団長、防災協力隊、保育園、小学校、中学校という地域の代表者に来てもらっている。班長が地域に持ち帰って話していただくような方法をとっている。防災管理官も採用したので、地域に向いているいろいろな避難行動をすることが大事だと思う。

**田代議員** 国県道、村道、林道の整備、危険箇所は。

**柳詰村長** 球磨郡の町村会で管内主軸事業の要望を実施し、球磨郡の6割から7割が球磨村の事業となっている。安全安心な暮らしの環境づくりを念頭に、国県に強く要望を重ねていく。土砂災害警戒区域に指定

されているのは、土石流が104箇所、急傾斜地の崩壊が182箇所である。

**田代議員** 県道人吉水保線、橋詰の美化側溝は。

**上部建設課長** 県振興局土木部が、本年度、事業費550万円で工事をを行う。

**田代議員** 小規模災害復旧事業の補助金で、機械だけでなく、人件費には出せないのか。

**上部建設課長** 機械が入らない場所の人件費の補助については、今年度の災害に間に合うように要項の改訂を行う。

**田代議員** 農業振興は。

**永椎産業振興課長** 平成29年度の地域づくり夢チャレンジ事業として、ベルギーエシヤロット（西洋野菜、白ナス、ズッキーニなど、飲食店から非常に人気が高い食材、作物がある。契約栽培や産地化をする3年間の取り組みである。

**田代議員** 契約栽培を目指している。ベルギーエシヤロットは作りたい。



田代 利一 議員

# 球磨村人口ビジョンの 推移における進捗と今後の取組は

**答** 今後さらに空き屋バンクの登録とその活用を  
推進していく。

**高澤議員** 現在、災害に強い村・地域づくりを目指し、タイムライン検討会・村民防災会議を計画的に防災

力強化実現の為、開催されている。村としての防災に対する危機意識と地域防災強化の為、危機管理官も任命し、進められている事に村長としての使命感の表れと士気を感じているところだ。

各地域における防災会議は、ソフト面とハード面それぞれ発展的な意見がでる中、自助・共助の部分においては、期間を設定し実現可能かどうかまで協議検討されているが、公助の部分における意見は、具体化されていなく感じている。

生活環境整備の現状と課題の中で、災害に強い避難場所の確立及び機能向上対策として、新たな避難所の選定や既存施設の補強・改修を、村道改良や農道・里道の整備計画を

行う事としているようだ。

災害時の避難道確保及び迂回路確保は必要不可欠な事であると考える。そこで各地域における防災会議でのハード面に対するものに行政としてどのような計画であるか伺う。

**柳詰村長** 自助は、村民一人一人が自分の命は自分で守るといふ具体的な方法を習得する事、共助は、地域の



村民防災会議 2ブロック



高澤 康成 議員

皆様が災害時助け合える方法を予め決めておく事、公助は、防災上の備えや災害時に様々な対応が出来るよう、制度や方策を組み立てておく事だ。

今後における防災計画については、都市防災総合推進事業で、球磨村復興まちづくり計画を策定中であり7月までには計画の構成が出来たらと思っています。具体的な工事箇所については、その中に入り込みたい。

**高澤議員** 球磨村まち・ひと・しごと創生総合戦略における球磨村の人口推移の共有と人口減少の歯止めの為に、どのような対策・戦略を講じるか、一つの資料となるものであり、人口減少問題は全国過疎地域においても、経済的・地域活性・財政運営にも大きな影響を及ぼす問題であ

り、各市町村それぞれに対策を講じている。

2040年では2,045人。この人口ビジョンを2040年までに2,663人とする為、現在あらゆる対策を講じておられ徐々に効果も現われているようだ。そこで、将来の人口ビジョンにおける対策について進捗と今後の取組について伺う。

**柳詰村長** 平成に入り年間100人減少している。このまま対策を講じないと2060年には1,192人まで減少する推計もでている。人口減少は地域経済・産業・地域コミュニティ・教育・地域文化ひいては行政へも影響を与えかねない。本村では球磨村ごと創生事業を昨年より活用し11の事業で10名の雇用を創出する事ができた。移住定住行動の影響もあり空き屋に関する問い合わせも増加している。今後さらに空き屋バンクの登録とその活用を推進していく。



今後の山林の固定資産税は

土地評価額は適正だと思う。来年度が、評価額の見直し時期になる。取引実態などを考慮して、見直しの準備を進めている。

**多武議員** これまでのいちばんの問題は、高い評価額を長年見直しずに来たことだ。このことを指摘し、平成24年と平成27年に減額し、現在では以前の約半分の評価額となっている。しかし、いまだ村内を8段階に区分した評価額で課税している。高い地域と低い地域との差が、最大1.8倍になっていることは問題だ。

**東税務課長** 申し訳ないが、いつから8段階で区分された評価額で課税してきたか確認できない。

**多武議員** 結局、税金をよく分からずに徴収している。来年度が評価額の見直しであれば、取引実態とも見比べて、評価額を一本化するべきだ。

**柳詰村長** 検討していきたい。

**多武議員** もう一つの問題が、共有

林の代表者の負担が大きくなっている。共有者も、今では他町村に住んでおられるケースが多く、集金に行っても取れないものは代表者が負担している。分割課税にするべきだ。

などうまくいつているのか。  
**友尻教育長** 県教委などの指導が非常に充実してきていると感じている。人事関係も配慮してもらっている印象だ。

**東税務課長** 地方税では、できないと考えている。

**多武議員** 無限の可能性のある子ども達のため、何ができるかが基本と思うが。

**多武議員** このままでは、代表者を引き受ける人がいなくなると思う。次に、教育委員会の学校教育を切り離し、一定のまとまった市町村で運営する教育委員会の広域化の考えは。

**友尻教育長** 提案に対しては、真剣に努力する。

**友尻教育長** 指導主事の配置により、学校指導の充実などメリットも大きいと思うが、町村間の教育環境も異なる部分もあり、現状では課題が大きいと認識している。

**多武議員** 今年から「地域と共に歩く学校づくり」を目的とした「ミニ二テイスフル」に取り組まれる。昔は、校長、教頭ともに村内の教職員住宅に生まれ、地域行事なども一緒に活動され、夜遅くまで語り合う機会も多く、地域に密着されていた。近頃、「学校との距離が遠くなった」との話を聞く。一つは、先生方が教職員住宅に住まなくなったことも原因だと思う。朝夕の交通指導も地域の方がほとんどになっている。まずは、見本となる教育長が、地元に住むべきではないか。

**多武議員** 現在、教育経験者は教育長一人である。学校指導や教員人事

**友尻教育長** 考えていたが、村内の住宅への希望者が多く厳しい状況だった。しかし、地域に根ざす教育を考えたとき、検討したい。

**答**

来年が評価の見直し時期 取引実態など考慮する。

山林は本当に資産なのか



多武 義治 議員

# 行政区再編10年目を迎えた コミュニティ支援は？

**答** 共助の村づくりを進める。地域の自主防災組織もこの事業で。

**宮本議員** ゲリラの局所的な豪雨

が発生し、ひとり暮らしや高齢者世帯の増加等もあり、村民の生命をいかにして守り、不安を解消するかが課題である。村民防災会議ブロック会議の状況を踏まえた今後の方向性は。

**柳詰村長** ブロック会議が各3回終

了し、今後あと3回のブロック会議を計画しており、平成30年度のまとめの予定のアクションプランの中で、地域ごとの要望等も整理して行く予定である。

村民それぞれが自分の身は自分で守るという防災意識の醸成を図り、地域住民の共助による自立した推進体制を構築できることが、地域の防災力につながるものと考えている。

**宮本議員** 自主防災組織の地域防災

に果たす役割は、重要である。24組

織の活動状況は。

**大瀬総務課長** この自主防災組織は

地縁団体、認可団体の組織の規約で謳ってあるものだ。地域法人のある地域では、避難行動の訓練や防災無線を利用しての地域への周知など、勉強会が始まっている。

**宮本議員** 行政区再編10年目を迎

え、人口減少、少子高齢化により地域コミュニティ活動に支障が出てきている。今後の支援体制は。

**柳詰村長** 地域により様々な活動が

行われていることは評価される。平成26年度から始めた共助の村づくり支援事業は、地域のコミュニケーション手段としての有効な取り組みとなっている。

**友尻教育長** 平成20年度から27年度

まで、地域コミュニティ組織推進モデル事業により地域支援を行なった。



宮本 宣彦 議員

高齢化が更に進む中で、地域公民館活動に対する行政区への支援は、今後より一層必要と考える。

共助の村づくり支援事業により、地域住民の自主性と住民自らによる創意を生かした地域づくりを進めると同時に、地域コミュニティ活動の活性化を目指している。

**宮本議員** 教職員の勤務実態を見ると、平日は授業の時間とその準備時間が多し。土日は、中学校で部活動の時間が多し。先生方のICT情報通信技術の活用状況及び部活動の実態の観点から、児童生徒のゆとりある教育につながる施策は。

**友尻教育長** 2年前から導入した校

務ソフトにより、通知表、指導要領、出席簿等々、有効に使われており、教育現場で有効に作用し、先生方の事務職の時間が短縮をしている。ICTは3校合同で研究を進めており、授業改善と子供たちの学力向上等々につなげたい。

中学校教員の勤務時間は、スポーツや文化活動の課外活動の指導時間が特に長い。部活動は教育効果の高いものである。適正な運営の在り方は、教育委員会でもしっかり検討し、教職員、保護者の皆さんを含め、あるいは子供たちの気持ちもしっかり踏まえて、一番いい状況を作りあげていかなければならない。



地域のコミュニティ活動

**嶽本議員** 総合運動公園の運営と施設管理について伺う。

**柳詰村長** 村民の体育・スポーツの振興及び健康と福祉の増進を図るために設置されたものであり利用開始から19年目を迎えている。整備については、これまでツツジ、桜の植栽を行うとともに、さくらドームの建設、老朽化したナイター設備改修事業、グラウンドの山手側の落石対策やその上に広がる人吉層の保全、園内トイレの洋式化や除草などの環境整備にも取り組んできた。

現状では、特に支障がなく、維持管理ができていると認識している。

**嶽本議員** 県民体育祭に向けた首長会議が開催されたようだが、その内容は。

**柳詰村長** 本年度は総合運動公園が、県民体育祭のソフトボール競技の主会場として指定を受け、競技が



ふれあい祭など多目的に利用されている運動公園

**柳詰村長** 立派な地層だと思っている。風化して落石のおそれもあるので地層を見せるのか、危険度の対策をするのか、方向性は決めていない状況である。

**嶽本議員** 昨年のふれあい祭のとき、グラウンドに車を駐車し、大雨が降り、グラウンドが荒れたようだ。いづからそんな理由でグラウンド内に車を駐車するようになったのか。

**高永企画振興課長** 公園ができて以来19回で、駐車場不足のためグラウンドに選定されたのではないかと。

**嶽本議員** 駐車場の確保、拡張できないか伺う。

**柳詰村長** 今後、適正な表土の補修をしていきながら維持管理を行っていくことから、駐車場の拡張は考え

ていない。

**嶽本議員** 避難場所としての考えは。

**柳詰村長** 浸水想定が最大規模のときの避難場所については、運動公園を考えなければならぬかと思っている。

**嶽本議員** ナイター使用料と施設維持費は。

**山口教育課長** 28年度実績使用料で年間51万8,790円、ナイター電気代で3003万1,336円となっている。

**嶽本議員** 総合運動公園内に3つの浄化槽があるが、それぞれの処理方式と種類、人槽、保守点検回数について伺う。

**山口教育課長** さくらドーム横が、合併浄化槽の26人槽、芝生広場横が、104人槽、多目的グラウンド横が、46人槽の単独槽である。水質検査は10月に1回、保守点検は3基とも毎月行っている。

答

拡張は考えていない。

## 運動公園の駐車場の拡張の考えは



嶽本 孝司 議員

# ヤマメ養殖事業の収益性は

**答** 販路の確保が必要不可欠  
生産者と連携して営業活動を行う。

**舟戸議員** 災害発生後に避難所となる地域防災拠点に、即時対応できる

よう物資を備えてあると思う。飲料水、食料品などの公的備蓄の目標数は。

**柳詰村長** 6つの指定避難所に、食料、水、毛布など一定量を確保している。目標数は、備蓄量を維持しつつ、

一年おきに更新していきたい。



役場に備蓄してある災害用物資

**舟戸議員** 高齢者、乳幼児、女性に配慮した備蓄計画はどうなっているか。

**大瀬総務課長** 熊本地震後の結果を踏まえ、計画的な取り組みを考えなければいけない。

**舟戸議員** 次に、安全安心な地域にするため、小中学校の通学路を中心に防犯カメラの設置を図るべきではないか。

**柳詰村長** 現在村内2ヶ所に設置している。今後もし必要性に応じ、関係機関と連携して進めたい。

**舟戸議員** 防犯カメラによる犯罪抑止力も大きいと思うので、PTAや学校関係者などにも働きかけてほしい。

**山口教育課長** 通学路安全推進会議の中で、議題として取り上げたい。

**舟戸議員** 次に、村では渡地区の簡易水道の配水管が老朽化しているため、新しく整備する計画である。事

業の財源の見通しは。

**柳詰村長** 国の交付金と村有林から積み立てた基金を活用したいと考えている。

**舟戸議員** 配水管は、大無田から沖鶴橋を通り渡地区に供給されている。途中トラブルがあれば困る地域もでてくる。大無田から鶴口のほう

にも、配水管を迂回する考えは。

**松村健康衛生課長** 迂回も考えなければならぬが、まずは老朽化している配水管の整備を優先する必要がある。

**舟戸議員** 次に、村民の健康対策のため、ピロリ菌検査費用の助成はできないか。

**松村健康衛生課長** ピロリ菌だけが病気の原因とはいえない。ストレス、食事、喫煙、体質など、他の因子



舟戸 治生 議員

も大きく関与する。また、除菌しても胃潰瘍のリスクが減るわけではなく、毎年の検診が必要になる。以上の理由で、検査費用の助成は慎重にすべきと考えている。

**舟戸議員** 本村における、骨髄バンク登録に対する周知は。

**松村健康衛生課長** 役場2階の窓口カウンターに、ドナー登録のしおりを常設している。また献血会場でもしおりを置いて啓発を行っている。

**舟戸議員** 次に、八代港へのクルーズ船寄港は、観光客の増加につながり、経済効果が期待できる。言語表記など受け入れ体制はどうしているのか。

**柳詰村長** 観光協会と連携して、外国語パンフレットの作成と、外国語勉強会を実施しなければならない。

**舟戸議員** 次に、ヤマメ養殖には、大変期待している。この事業の収益性は。

**柳詰村長** 販路の確保が必要不可欠になる。生産者とかかわせみ職員が連携して営業活動を行い、収益性を高めたい。

**小川議員** 本村の農地の保全及び経営発展に向けた集落営農の在り方について伺う。

**柳詰村長** 効果的な土地基盤の整備と土地利用の集積を行うためには、まずは、集落地域での話し合いにより地域農業の在り方について議論を進め、地域農業を担う農家、生産基盤となる農地を将来においても確保していくための展望を作る必要があります、今後の地域の中心となる経営地はどこなのか、個人経営のみならず集落営農を視野に入れ、害獣対策をどう行つか、農業機械の更新や農業用水路、農道等の管理をどう行つかなど、経費の節減を図るために、中長期に見据えた計画策定が必要。

**小川議員** 県による中山間地域での抱える課題についてのアンケート調査結果が出ているが、高齢化、担い手後継者不足、鳥獣被害に集中している。本村も同様であり、この現実を踏まえ対応策は。



今後の農業は

ケート調査の考えは。

**永椎産業企画課長** 本年、農業振興計画の見直しに伴う基礎調査を実施予定。あわせて、農業施策、農業の現状についてのアンケートを実施し、農業に対する意向調査を予定している。

**小川議員** 渡地域の一部をモデル地域として集落営農を進めたいとの考えだが、村全体へ地域を広げる考えはないのか。

**柳詰村長** 農地基盤の整備された圃場でないと思っ。

**小川議員** 集落営農は地域の合意で成り立つものであり、様々な形態が考えられると思う。将来の農業を考えるための足がかりとして、行政としても方向性を探つてもうたい。

次に、公民館活動の現状と課題について伺う。

**柳詰村長** 行政区の再編により、地

域公民館化の設立推進を図った。その後、班単位での活動が実施されるようになり、行政区再編以前の活動形態となりつつある。行政区が一つの体となった地域「コミュニティ」としての機能を発揮できるように、共助の村づくりを柱に支援を進める。

**小川議員** 地域公民館を共助の村づくりとして継続、強化発展させる立場なのか。

**柳詰村長** 公民館活動の支援については、実績報告を基に予算化してきた。事業報告を見ると、ほとんどが共助の村づくりに関連している。公民館活動の申請について、共助の村づくり事業補助金で全部実施できるものとして判断し、予算決定しなかった。

**小川議員** 地域公民館は様々な組織を一体化させたものであり、組織の体制をなす基礎的な補助は必要と思う。検討の余地はないのか。

**柳詰村長** 共助の村づくりとしての事業補助と公民館事業補助があり、同じ事業に2つの補助が流れ、偏った状態にある。

**小川議員** 公民館活動での事業計画、予算計画を作る段階で基礎的な部分での補助は必要と思う。

**答** 渡地区の一部をモデル地域にした対応を考えている。

## 農業の高齢化、担い手、後継者不足に対する対応は



小川 俊治 議員

# 交通の歴史、今や観光に！

球磨村の交通網整備の歴史を見てみましょう。  
まず、1番目は、江戸時代、大瀬の下にあった球磨川の亀石(亀割石)が開削され、球磨川を舟で八代海まで運行できるようになったことです。

今を遡ること約350年前、林正盛公が、苦勞の末に、大きな岩を取り除いたことにより、球磨川を利用して、相良氏の参勤交代が行われるようになり、舟運が発展しました。球磨川は、日本三大急流(富士川、最上川、球磨川)の一つであり、球磨川下りなどの舟旅も始まりました。

2番目は、明治41年の肥薩線の開通です。まず、八代・人吉間(川線)が開通し、翌年、明治42年の人吉・吉松間(山線)の開通により、線名が鹿児島本線となりました。

昭和2年、八代・川内・鹿児島間(海岸線)が新たに鹿児島本線と改称されたことにより、八代・隼人間が現在の「肥薩線」と改称され、今年で開通から109年目を迎えています。

3番目は、平成元年12月の八代・人吉間の高速自動車道の開通です。その後、未開通部分の人吉・えびの間の間が平成7年7月に開通し、九州自動車道の全線開通となりました。

日本の高度経済成長が昭和30年代に始まり、昭和40年以降、高速道路の整備に伴って、道路網が充実されたことにより、私たちの生活も自動車社会に変化し、遠いところに早く短時間で到着できるようになり「せまい日本そんなに急いでどこへ行く」(昭和48年交通安全標語)が流行ったことがありました。

高度成長が落ち着くと、時間をゆっくり楽しみたいという風潮が出てきて「スローな旅」が流行るようになり、移動手段としての列車が、移動の時間を楽しむ観光列車の旅へと変化し、九州内にもたくさんのD&S(デザイン&ストーリー)列車が走るようになりました。

3月4日から、特急「かわせみ・やませみ」が熊本・人吉間を1日3往復走っています。特に、昼を挟んで走る列車3号・4号には、多くの観光客の方が乗車され、SLとともに、エメラルドグリーンの世界が広がる空間と時間、四季折々の自然を満喫されています。

本年、村では、国の地方創生拠点整備交付金により、JR渡駅舎・一勝地駅舎の“魅力アップ”拠点整備が行われます。

観光情報の充実、物販やチャレンジショップの設置等により、観光振興と交流人口の増加、経済効果が図られることを期待します。

(宮本 宣彦)



一勝地駅に停車する特急「かわせみ・やませみ」



沢見展望所から見た球磨川(大瀬付近)

## 編集後記

黒白地区に行ってきました。7世帯12名の方が生活されています。

一勝地地区の一番奥に在り、現在の交通手段は、自家用車かコミュニティバスです。黒白の手前で、ある住民の方にお話を聞くことができました。

「以前、産交バスが運行されていたときには、夏になると、バスを利用して多くの方にキャンプに来てもらっていました。

昨年は下の方で道路の舗装工事があつたり、少子化の影響もあつたりして、めっきり少なくなりました。」と。

子供たちが自然あふれる山里で貴重な体験をする。小さな体験と親子のふれあいが必要な思い出を創る。小さな集落でも、そんな心豊かな古里が村にはある。

宮本 宣彦

## 議会広報特別委員会

委員長	多武 義治
副委員長	犬童 勝則
委員	小川 俊治
委員	高澤 康成
委員	宮本 宣彦

■球磨村世帯数:1,520世帯 ■人口:3,855人 男:1,829人 女:2,026人(平成29年7月1日現在)